

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月30日

上場会社名 サトレス特朗システムズ株式会社

コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 重里 欣孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 寺島 康雄

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

TEL 072-227-5901

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,662	△8.7	△83	—	△124	—	△168	—
21年3月期第1四半期	6,202	—	△123	—	△142	—	△170	—
		1株当たり四半期純利益				潜在株式調整後1株当たり四半期純利益		
		円 銭				円 銭		
22年3月期第1四半期		△6.70			—			
21年3月期第1四半期		△6.77			—			

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
22年3月期第1四半期	百万円 23,018	百万円 9,204	% 40.0	円 銭 366.26
21年3月期	百万円 21,808	百万円 9,280	% 42.6	円 銭 369.30

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 9,204百万円 21年3月期 9,280百万円

#### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	円 銭 —	円 銭 2.50	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 2.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

#### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間(は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期 累計期間 通期	12,470	△5.0	290	82.7	170	59.4	30	22.2	1.19	
	24,460	△3.9	510	198.1	290	320.1	40	—	1.59	

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更	無
② ①以外の変更	無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	25,394,380株	21年3月期	25,394,380株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	264,111株	21年3月期	263,411株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	25,130,619株	21年3月期第1四半期	25,136,219株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、海外経済の急速な落ち込みによる輸出の減少、企業収益や金融環境の悪化による設備投資の大幅な減少等、景気後退局面となりました。輸出や生産の一部に悪化の下げ止まりの兆しが現れておりますが、雇用や所得環境は厳しさを増しており、先行き不透明な状況が継続しております。

外食産業におきましては、個人消費が弱まっている中で、新型インフルエンザの拡がり等もあり、消費者の支出抑制の影響を受け、厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社は「最も顧客に信頼される和食レストランの実現」に向けて諸施策を積極的に推進してまいりました。

店舗展開につきましては、郊外和食業態「和食さと」で1店舗の新規出店と1店舗の閉店を行いました。当第1四半期会計期間末の店舗数は210店舗となりました。その内訳は、郊外和食店197店舗、すし半店13店舗であります。

営業施策では、主力の郊外和食店「和食さと」における客層拡大の一環として、4月よりお子様対象の会員制度「さとキッズくらぶ」を発足させ、キッザニア甲子園へのご招待や、「すしコンテスト」等の各種イベント、グッズプレゼントを企画実施しご好評を得ております。また、6月より食べ放題メニュー「さとしゃぶ」を全店導入致しました。すし半店におきましても、4月より宅配実施店を1店舗追加し、前期からの店舗と合わせ4店舗となり、寿司だけでなく法事・慶事料理にも対応してお客様の支持を頂いております。

以上の結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高56億62百万円（前年同四半期比8.7%減）、営業損失83百万円（前年同四半期は1億23百万円の営業損失）、経常損失1億24百万円（前年同四半期は1億42百万円の経常損失）、四半期純損失1億68百万円（前年同四半期は1億70百万円の四半期純損失）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、230億18百万円（前事業年度末比12億10百万円の増加）となりました。

流動資産は39億1百万円（前事業年度末比13億32百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金13億14百万円の増加によるものであります。

固定資産は191億17百万円（前事業年度末比1億22百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の増加1億12百万円、有形固定資産の減少76百万円、差入保証金の減少1億12百万円などであります。

流動負債は、65億16百万円（前事業年度末比5億7百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の増加4億63百万円、未払金の増加2億26百万円、賞与引当金の減少1億23百万円などであります。

固定負債は、72億98百万円（前事業年度末比7億79百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金8億4百万円の増加によるものであります。

純資産は、92億4百万円（前事業年度末比76百万円の減少）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べ13億14百万円増加し、29億11百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、9百万円（前年同四半期は10百万円の使用）となりました。これは主に、減価償却費1億95百万円や未払金の増加2億26百万円などによる増加と、税引前四半期純損失1億35百万円などによる減少であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、36百万円（前年同四半期は1億59百万円の使用）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入1億44百万円、有形固定資産の取得による支出1億3百万円などであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、12億63百万円（前年同四半期比364.3%増）となりました。これは主に、短期借入金の純増3億30百万円、長期借入金の純増9億38百万円などであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,911,488	1,597,399
売掛金	130,349	126,838
商品及び製品	131,683	108,703
原材料及び貯蔵品	332,829	306,285
繰延税金資産	191,788	190,880
その他	203,086	238,568
<b>流動資産合計</b>	<b>3,901,224</b>	<b>2,568,676</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	2,999,031	3,036,338
土地	9,425,318	9,425,318
その他（純額）	851,630	890,982
<b>有形固定資産合計</b>	<b>13,275,980</b>	<b>13,352,639</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>259,029</b>	<b>266,466</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	594,894	482,128
長期貸付金	522,401	534,155
差入保証金	3,614,291	3,727,027
繰延税金資産	561,892	591,040
その他	288,978	286,321
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>5,582,457</b>	<b>5,620,673</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>19,117,467</b>	<b>19,239,779</b>
<b>資産合計</b>	<b>23,018,692</b>	<b>21,808,455</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	442,229	451,702
短期借入金	4,183,698	3,719,827
未払金	1,208,173	981,268
未払法人税等	43,979	139,592
未払消費税等	108,249	65,277
賞与引当金	65,600	189,000
店舗閉鎖損失引当金	55,270	102,261
関係会社事業損失引当金	53,000	53,000
その他	355,845	306,424
<b>流動負債合計</b>	<b>6,516,045</b>	<b>6,008,353</b>

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	6,080,000	5,275,200
再評価に係る繰延税金負債	917,768	917,768
役員退職慰労引当金	31,403	78,811
その他	269,331	247,532
<b>固定負債合計</b>	<b>7,298,502</b>	<b>6,519,312</b>
<b>負債合計</b>	<b>13,814,548</b>	<b>12,527,665</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	5,592,458	5,592,458
資本剰余金	3,224,180	3,224,180
利益剰余金	314,840	483,321
自己株式	△188,202	△187,813
<b>株主資本合計</b>	<b>8,943,277</b>	<b>9,112,147</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	141,668	49,444
土地再評価差額金	119,198	119,198
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>260,866</b>	<b>168,643</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,204,143</b>	<b>9,280,790</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,018,692</b>	<b>21,808,455</b>

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	6,202,473	5,662,992
売上原価	1,771,373	1,626,025
売上総利益	4,431,100	4,036,966
販売費及び一般管理費	4,554,265	4,120,924
営業損失(△)	△123,164	△83,957
営業外収益		
受取利息	3,450	3,290
受取配当金	4,925	8,195
受取家賃	38,855	34,699
補助金収入	—	14,389
雑収入	17,802	8,995
営業外収益合計	65,034	69,569
営業外費用		
支払利息	49,028	52,679
不動産賃貸費用	30,846	30,024
雑損失	4,132	27,405
営業外費用合計	84,006	110,109
経常損失(△)	△142,136	△124,497
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	1,325	—
特別利益合計	1,325	—
特別損失		
固定資産除却損	16,647	4,569
減損損失	15,846	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	12,610	—
早期割増退職金	—	6,529
特別損失合計	45,104	11,099
税引前四半期純損失(△)	△185,915	△135,597
法人税、住民税及び事業税	29,340	25,186
法人税等調整額	△45,082	7,697
法人税等合計	△15,741	32,883
四半期純損失(△)	△170,174	△168,481

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△185,915	△135,597
減価償却費	225,660	195,127
減損損失	15,846	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△148,000	△123,400
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	7,918	△46,990
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△47,408
受取利息及び受取配当金	△8,375	△11,485
支払利息	49,028	52,679
有形固定資産除却損	14,808	4,080
売上債権の増減額(△は増加)	31,774	△3,510
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37,939	△49,523
仕入債務の増減額(△は減少)	△92,047	△9,473
未払金の増減額(△は減少)	277,792	226,905
未払消費税等の増減額(△は減少)	37,881	42,972
その他	△60,873	55,839
小計	127,559	150,215
利息及び配当金の受取額	4,965	8,204
利息の支払額	△42,550	△48,334
法人税等の支払額	△100,407	△101,017
その他の支出	△257	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	△10,689	9,068
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△184,508	△103,076
差入保証金の差入による支出	△15,030	—
差入保証金の回収による収入	22,963	144,390
建設協力金の回収による収入	35,435	17,944
その他	△18,331	△22,960
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△159,471	36,298
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△140,000	330,000
長期借入れによる収入	1,150,000	1,720,000
長期借入金の返済による支出	△737,504	△781,329
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△4,642
自己株式の取得による支出	△345	△389
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	272,151	1,263,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	106	5,083
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	102,096	1,314,088
現金及び現金同等物の期首残高	1,809,373	1,597,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,911,469	2,911,488

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。